



2021年
2月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園
<http://www.takasago-hoikuen.com>


寒風の中、通園・通勤に手足や耳が凍る日もあり、春が待ち遠しいのは大人ばかりでしょうか。先日雪が降った際の大喜びする子ども達の姿に逞しさを感じました。さすが！子どもは風の子ですね。

今、保育園では、つくしんぼの会の練習に熱が入る子ども達です。子ども達のそんなパワーを十分に発揮できるよう、発表会へ向けるこの時期は、集中して行なう練習にあわせ、一人でじっくり遊んだり、外に出て鬼ごっこをしたり、個の遊びや仲間との遊び、静的、動的遊び等バランスを工夫し、生活の中に緊張と緩和を取り入れています。

つくしんぼの会は、当日までのプロセスこそが子どもたちの成長の大きな糧になっています。当日緊張して十分に表現できない姿もあるかと思いますが、温かい拍手をお願いいたします。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	
2才おめでとう	
3才おめでとう	れいなちゃん
4才おめでとう	
5才おめでとう	
6才おめでとう	

2月の予定	
1	月 ちゅっちゅこっこの会 
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月 ちゅっちゅこっこの会 
9	火
10	水
11	祝 建国記念の日
12	金
13	土 
14	日
15	月 乳児誕生会 ちゅっちゅこっこの会 171災害ダイヤル
16	火 リハーサル、写真撮り(2~5才) 0才児健診
17	水
18	木
19	金
20	土 つくしんぼの会(2.5才) ◇名札着用
21	日
22	月 ちゅっちゅこっこの会 PPD
23	祝 天皇誕生日
24	水
25	木 卒園式合同練習
26	金 卒園記念写真撮り(5才)
27	土 つくしんぼの会(3.4才) ◇名札着用
28	日
29	/
30	/
31	/

(予定は変更になる場合があります)
◇名札の着用をお願いします

ひよこ組(0才児)です よろしくね！

ひよこ組の子ども達は、名前を呼ばれると、手を挙げたり、「はい」と可愛らしいお返事もできるようになりました。子ども同士で「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と名前を呼ぶ姿も少しずつみられるようになり、呼ぶ子も呼ばれた子もお互いに顔を見合わせて嬉しそうにしています。

又、保育者にお友だちを指差して「お名前呼んで」と表情でアピールし、名前を呼ばれることを待っています。名前が呼ばれると喜んでそのお友達を指差して「次は誰かなあ〜」と期待する表情が愛らしいです。

日常の中でも保育者が「〇〇くん、どこかな？」と伝えると指差して「こっちにいるよ」と教えてくれたり、子どもたちの中で“お友だち”の存在が大きくなっていると感じます。お友達の顔と名前が一致してわかる子どもたちにとっても嬉しい力の獲得です。



こどものつばやき りす組(3才児)

豆まきに向けて、鬼のお面等制作をしていたある日の光景です。豆の入れ物は、紙コップにトラ柄の模様を糊付けして作りました。

Aくん : 「おにのパンツはいいパンツ〜つよいぞ〜♪
とらのけがわでできている〜つよいぞ〜♪」
「おにのパンツ」を歌いながらノリノリで作るAくんです。

Bちゃん: 「わたし、きょうはハートのパンツなんだよ！」
Cくん : 「ぼくは、あかいパンツ！
先生は何のパンツかな〜??」

制作をしながら、子ども達自慢のパンツを教えてくれたり、歌の歌詞を色々な柄のパンツで替え歌を作って、盛り上がったのでした。



鬼退治したよ〜！

各クラスで豆まきの紙芝居を読んで、節分の意味を子ども達に伝え、どんな鬼を退治したいのか出し合い、当日クラス毎に張りぼての鬼に向かって豆を投げ「心の鬼退治」をしました。しかしなんとぞう組さんが豆を投げ始めたところに…本物の鬼の登場でビックリ！！しましたが、ぞう組の「ぐるぐる大作戦」で鬼を保育園から追い出してくれ一安心でした。強いぞう組さんありがとう！！暦の上では立春、春が待ち遠しいですね。



つくしんぼの会

日時: 2月20日(土) うさぎ組・ぞう組
: 2月27日(土) りす組・ひつじ組
場所: たかさご保育園 1F



新型コロナウイルス感染症対策として各クラス毎の発表・見学になります。
※名札の持参、着用をお願いします。



引き取り訓練をします

1月に予定していた引き取り訓練は、緊急事態宣言により延期となりました。

2月は、大災害(東日本大震災級の災害)を想定し水害を含め実施いたします。

玄関にて引取り者の確認をさせて頂いてから、子どもの引取りとなります。

※訓練は予告なしで実施いたしますので、引取りカードの携帯を忘れずにお願いいたします。

有事の際の園外避難時の
たかさご保育園の
目印となる旗です。



たかさごの教育(人との関わり) 第10回

ばんび組(1才児)の子ども達は、お友だちの遊びに興味を持って真似をしたり、一緒に遊ぶことの楽しさをお友だち同士で共有し合うようになってきました。保育者が媒介となり子ども達同士のやり取り遊びに繋がっていきました。お友だちの存在を感じながら、言葉を交わしたり見立て・つもり遊びを楽しんでいます。

ままごとコーナーでは、壁についているインターホンの絵を「ピンポン」と言いながら押し「はい」と中から顔を出したりお友だちと笑いあいながら一緒に遊ぶ姿があります。

しかし、楽しく遊んでいても、自分の気持ちを上手く言葉で表現することは、まだまだ難しい年齢です。思いが上手く伝わらず、泣いてしまったり、手が出てしまったり、かんでしまうなどの表現になってしまうこともあります。そうした時には、保育者が「〇〇したかったの？」と気持ちを受けとめ、「〇〇だから、大丈夫よ」と言葉で子ども達の気持ちを代弁しています。一人ひとりの気持ちに丁寧に向き合い、お友だちと一緒に遊ぶことの楽しさが感じられるように過ごしています。